

2022年10月度役員会議事録

日時：2022年10月24日(月)18:00～19:00

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田会長、横田副会長、南、下村、岡林

本会の参加者は11名中8（委任含む）人出席であり、規定により議決を有します。

議題

1) 第11回コンクリート技術研修会について

3年ぶりの開催となった第11回コンクリート技術研修会は、参加者113名(内女性4名)であった。収支については、約65,000円程度の赤字となった。コロナ前は募集人員を250名としていたが、感染症対策として入場制限をしたこと、募集開始時期が遅れ周知が遅れ参加者が減少した等が考えられる。

他のCPDS認定講習会のユニット数と講習料を比較した場合、当会主催講習会は若干であるが講習料が安い傾向である。次年度からが他の講習会と整合性を図ることとし、¥1,000 値上げの一般¥5,000、会員¥4,000 とすることとなった。次年度の内容は、例年通り県・国土交通省の方並びに施工性向上のための留意点などを学識経験者に相談する。

アンケート結果より、参加者の満足度は高い印象であった。資料についてダウンロードについてのアナウンスに若干問題があった。今回はご登壇下さった方々からの資料提出と開催日までが非常にタイトであったため、ホームページへのアップロード時期が短かったことから、次年度からがご登壇いただく方々にご協力を願ひ、8月中旬に資料を提出して頂けるよう働きかけを行うこととした。

頂いたアンケート結果は後日会員にメール送信することとした。

2) 大宮橋見学会について

10月22日(土)に開催した見学会は、当会から22名、愛媛大学の森先生、西条市職員、施工会社の方々の合計30名であった。大宮橋の見学では森教授および西条市の方々から丁寧な説明が行われ、座学においては、大宮橋の歴史や今後のインフラ構造物の維持管理、十施工時の留意点等意見交換があり充実した見学会であった。原田会長より2024年度は当会設立15年目の節目になるので、鳥取、島根県の診断士会との交流、土木遺産と足立美術館の見学会等を進めればと考えている。具体的な内容は今後検討する。

3) JCD主催「第5回保有技術・第9回業務体験報告会」について

11月11日(金)に愛知県で開催される業務体験報告会に横田副会長が参加。内容は「夏季における高強度のマスコンクリートの施工について」である。当日はweb閲覧が可能であり、できるだけ多くの会員に機会を与えるべく福留開発㈱ときわホールにおいて、web閲覧会を開催することとした。後日

参加者をメールにて募集予定である。当日ときわホールに来られる方は駐車場が無いので、周辺の有料パーキングを利用して頂きたい。

4) その他

本年度のコンクリート診断士受験では高知県内で3名の合格が知らされた。当会に入会頂けるよう働きかけを行う。また、徳島県の資格保有者の方が入会に向け準備中である。

以上

2022年10月31日

文責 岡林